

(2) 死 亡

ア 死亡数及び死亡率

死亡数は61,269人で、前年の60,264人より1,005人増加した。

死亡率は、人口千人に対し8.6で前年の8.4を0.2ポイント上回った。全国の死亡率は10.1であった。

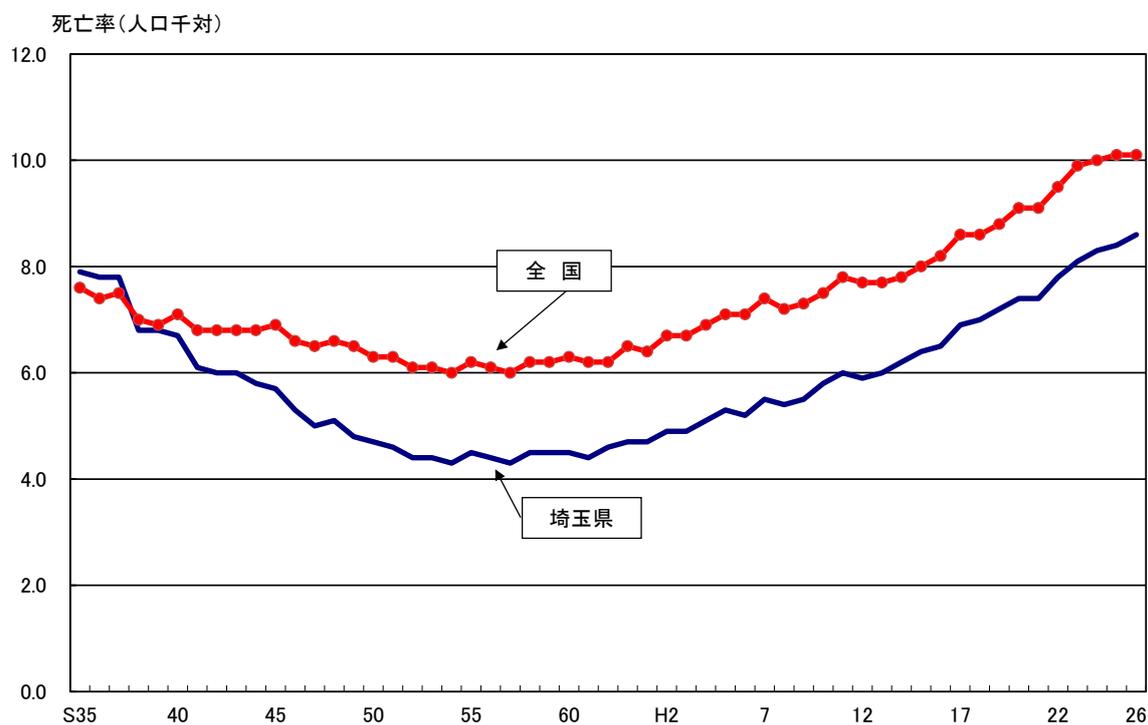
死亡率の年次推移をみると、昭和35年7.9、昭和45年5.7、昭和50年4.7、昭和55年4.5と低下し、以降4.5前後で推移していたが、昭和61年以降上昇傾向に転じた。(表-6、図-5)

表-6 死亡数及び死亡率の年次推移

	S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	22	24	25	26	
数	埼玉県	19 089	20 117	21 836	22 688	24 129	26 417	31 222	36 799	40 486	48 095	55 487	59 137	60 264	61 269
	全国	706 599	700 438	712 962	702 275	722 801	752 283	820 305	922 139	961 653	1 083 796	1 197 012	1 256 359	1 268 436	1 273 004
率	埼玉県	7.9	6.7	5.7	4.7	4.5	4.5	4.9	5.5	5.9	6.9	7.8	8.3	8.4	8.6
	全国	7.6	7.1	6.9	6.3	6.2	6.3	6.7	7.4	7.7	8.6	9.5	10	10.1	10.1

注 率は人口千対である。

図-5 死亡率の年次推移（埼玉県・全国）



イ 都道府県別にみた死亡率

都道府県別にみると、本県の死亡率は昭和 60 年以降平成 13 年まで、昭和 62 年を除き低率順で第 1 位、平成 14、15 年は沖縄県に次いで第 2 位、16 年からは沖縄県及び神奈川県に次いで第 3 位となっていた。平成 26 年は東京都が第 3 位となり、埼玉県は愛知県に次いで第 5 位となった。(表-7)

表-7 都道府県別にみた死亡率

	平成12年			平成17年			平成22年			平成24年			平成25年			平成26年		
	都道府県名	率	順位	都道府県名	率	順位	都道府県名	率	順位									
高 率 順	全 国	7.7		全 国	8.6		全 国	9.5		全 国	10.0		全 国	10.1		全 国	10.1	
	高 知	10.2	1	島 根	11.6	1	秋 田	13.2	1	秋 田	14.0	1	秋 田	14.2	1	秋 田	14.6	1
	高 島	10.2	2	高 知	11.5	2	高 知	12.8	2	島 根	13.6	2	高 知	13.8	2	高 知	13.6	2
	秋 田	10.1	3	秋 田	11.4	3	島 根	12.8	3	高 知	13.5	3	島 根	13.7	3	島 根	13.5	3
	山 口	10.0	4	山 口	11.2	4	山 口	12.3	4	山 形	12.9	4	山 形	13.2	4	山 形	13.4	4
	鳥 取	9.7	5	山 形	11.0	5	山 形	12.1	5	青 森	12.8	5	山 口	13.1	5	和歌山	13.0	5
	徳 島	9.7	6	和 歌 山	10.9	6	和 歌 山	12.1	6	山 口	12.8	6	和 歌 山	13.1	6	徳 島	13.0	6
	和 歌 山	9.6	7	鹿 児 島	10.9	7	鹿 児 島	11.9	7	徳 島	12.7	7	徳 島	13.1	7	青 森	12.9	7
	山 形	9.6	8	徳 島	10.7	8	徳 島	11.9	8	和 歌 山	12.7	8	青 森	12.8	8	鹿 児 島	12.9	8
	鹿 児 島	9.5	9	岩 手	10.6	9	岩 手	11.9	9	鹿 児 島	12.6	9	鳥 取	12.7	9	山 口	12.8	9
大 分	9.3	10	愛 媛	10.6	10	鳥 取	11.9	10	岩 手	12.4	10	鹿 児 島	12.6	10	岩 手	12.7	10	
低 率 順	埼 玉	5.9	1	沖 縄	6.7	1	沖 縄	7.3	1	沖 縄	7.6	1	沖 縄	7.8	1	沖 縄	8.1	1
	神 奈 川	6.0	2	神 奈 川	6.8	2	神 奈 川	7.6	2	神 奈 川	8.0	2	神 奈 川	8.1	2	神 奈 川	8.3	2
	沖 縄	6.1	3	埼 玉	6.9	3	埼 玉	7.8	3	埼 玉	8.3	3	埼 玉	8.4	3	東 京	8.5	3
	千 葉	6.3	4	千 葉	7.4	4	愛 知	8.1	4	愛 知	8.4	4	東 京	8.5	4	愛 知	8.6	4
	愛 知	6.6	5	愛 知	7.4	5	東 京	8.1	5	東 京	8.5	5	愛 知	8.6	5	埼 玉	8.6	5

注 1 率は人口千対である。

注 2 順位の算出には、小数点第 1 位以下を考慮。

ウ 死因

(ア) 死因順位

平成26年の死亡数を死因順位別にみると、第1位は悪性新生物 18,599人（死亡総数の30.4%）、第2位は心疾患 10,263人（16.8%）、第3位は肺炎 6,275人（10.2%）、第4位は脳血管疾患 5,155人（8.4%）、第5位は老衰 2,800人（4.6%）となっている。

死亡率（人口10万対）を前年と比べると、悪性新生物（260.4）が6.7ポイント、心疾患（143.7）が0.9ポイント、老衰（39.2）が3.5ポイント、不慮の事故（21.3）が0.5ポイント、腎不全（16.0）が0.5ポイント、慢性閉塞性肺疾患（10.2）が0.9ポイント上昇した一方、肺炎（87.8）が0.6ポイント、脳血管疾患（72.2）が4.5ポイント、自殺（18.7）が2.1ポイント、肝疾患（11.1）が0.2ポイント低下した。（表－8）

表－8 主な死因別死亡数及び死亡率（対前年比較）

埼玉県

死 因	平成26年			平成25年			平成25年との比較		
	数	率(人口10万対)	死亡総数に占める割合	数	率(人口10万対)	死亡総数に占める割合	数	率(人口10万対)	死亡総数に占める割合
総 数	61 269	857.7	100.0	60 264	844.7	100.0	1 005	13.0	
悪 性 新 生 物	18 599	260.4	30.4	18 100	253.7	30.0	499	6.7	0.4
心 疾 患	10 263	143.7	16.8	10 186	142.8	16.9	77	0.9	△ 0.1
肺 炎	6 275	87.8	10.2	6 309	88.4	10.5	△ 34	△ 0.6	△ 0.3
脳 血 管 疾 患	5 155	72.2	8.4	5 472	76.7	9.1	△ 317	△ 4.5	△ 0.7
老 衰	2 800	39.2	4.6	2 548	35.7	4.2	252	3.5	0.4
不 慮 の 事 故	1 523	21.3	2.5	1 481	20.8	2.5	42	0.5	－
自 殺	1 337	18.7	2.2	1 486	20.8	2.5	△ 149	△ 2.1	△ 0.3
腎 不 全	1 146	16.0	1.9	1 109	15.5	1.8	37	0.5	0.1
肝 疾 患	791	11.1	1.3	804	11.3	1.3	△ 13	△ 0.2	－
慢性閉塞性肺疾患	731	10.2	1.2	666	9.3	1.1	65	0.9	0.1
小 計	48 620	680.7	79.4	48 161	675.1	79.9	459	5.6	△ 0.5
そ の 他	12 649	177.1	20.6	12 103	169.7	20.1	546	7.4	0.5

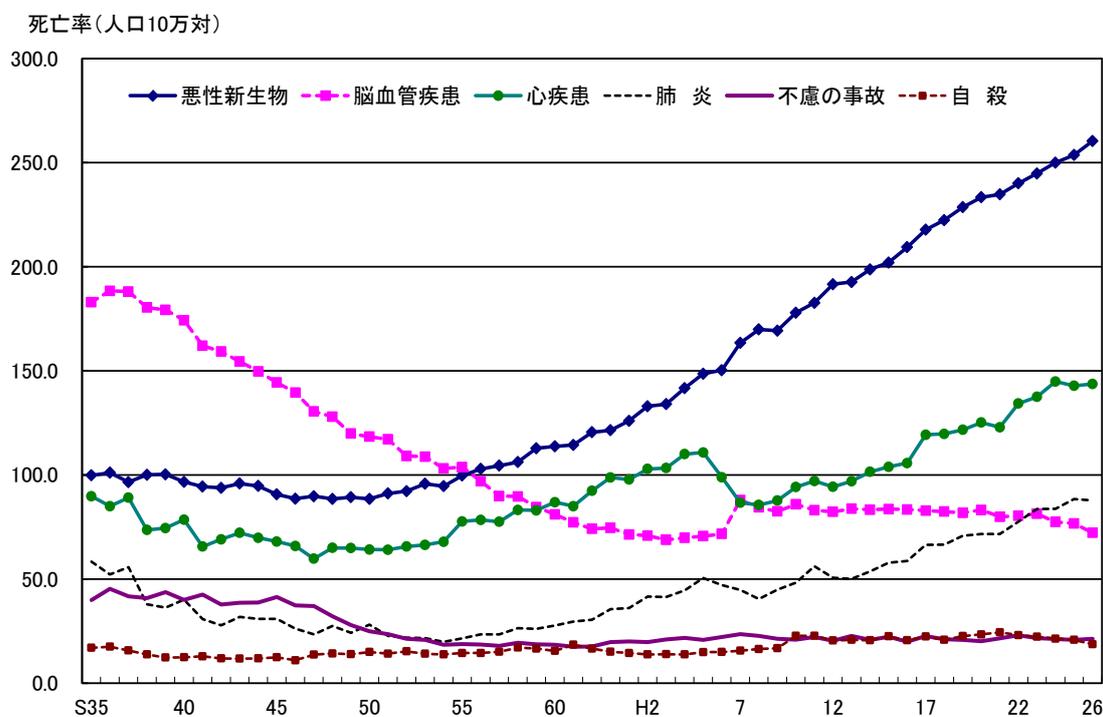
死因別に死亡率(人口10万対)の年次推移をみると、悪性新生物は昭和55年以降概ね上昇を続け、平成15年には200.0を超えた。また、昭和56年以降は死因順位第1位となり、平成26年は260.4だった。平成26年の死亡総数に占める割合は30.4%となっている。

心疾患は、昭和60年に脳血管疾患にかわり第2位となり、その後も緩やかな上昇を続けており、平成14年から100.0を越えている。平成26年の死亡総数に占める割合は16.8%となっている。

脳血管疾患は昭和36年をピークに低下し、昭和56年には悪性新生物にかわり第2位に、さらに昭和60年には心疾患にかわり第3位となり、その後も低下傾向にあったが、平成23年には、肺炎にかわり第4位となり、平成26年の死亡総数に占める割合は8.4%となっている。(表-8、図-6)

なお、平成6・7年の心疾患及び脳血管疾患の著しい変動は、死亡傾向が急激に変化したものではなく、死因分類(ICD-10)及び死亡診断書の改正によるものと考えられる。

図-6 主要死因別死亡率の年次推移(埼玉県)



※死因分類(ICD-10)及び死亡診断書の改正による影響

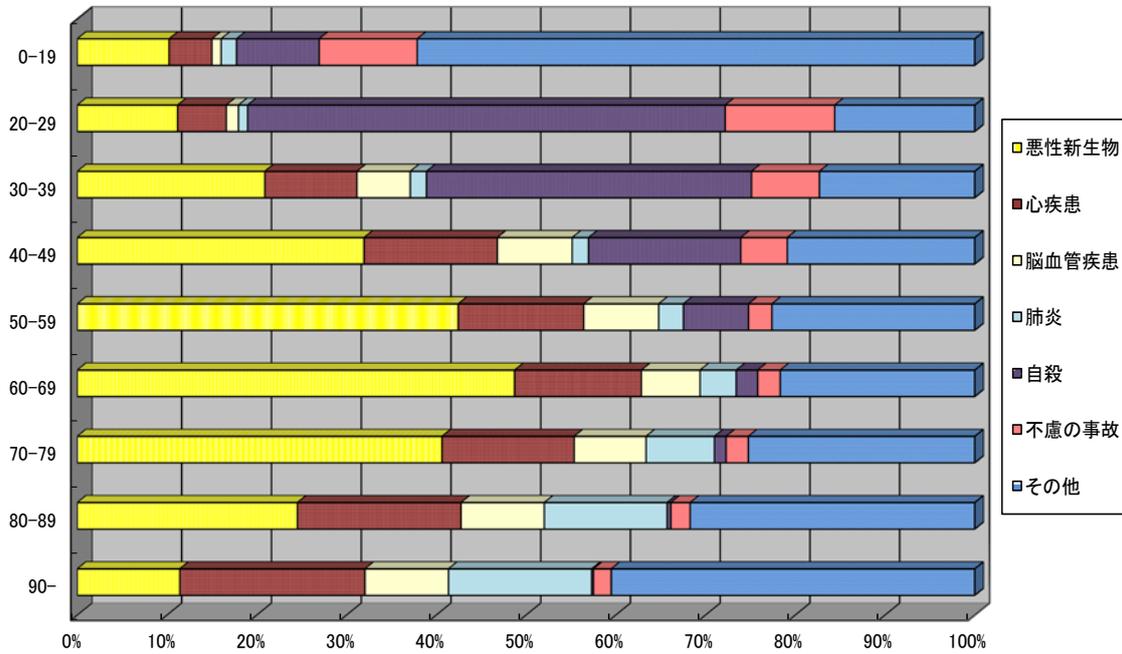
心疾患の平成6年から3年間は、大きく前年を下回っている。この低下は、平成7年1月施行の新しい死亡診断書(死体検案書)における注意書き「死亡の原因欄には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください」の影響が考えられる。

脳血管疾患は、平成7年は前年を大きく上回った。これは、死因分類の改正で、肺炎に影響を与えた疾患として脳出血を死亡原因とするようになった影響が考えられる。

なお、逆に肺炎は減少している。

年齢階級別に死因別割合をみると、10歳代では不慮の事故、20歳～30歳代では自殺、40～80歳代では悪性新生物、90歳以上では心疾患の割合が最も高くなっている。
 (図－7)

図－7 年齢階級別にみた主要死因別割合



(イ) 悪性新生物（がん）

悪性新生物による死亡数は18,599人で、死亡総数の30.4%を占めている。つまり、全死亡者のおよそ3人に1人は悪性新生物で死亡したことになる。

年齢階級別にみると、70～79歳が6,461人で最も多く、次いで80～89歳が5,039人、60～69歳が4,019人の順となっている。

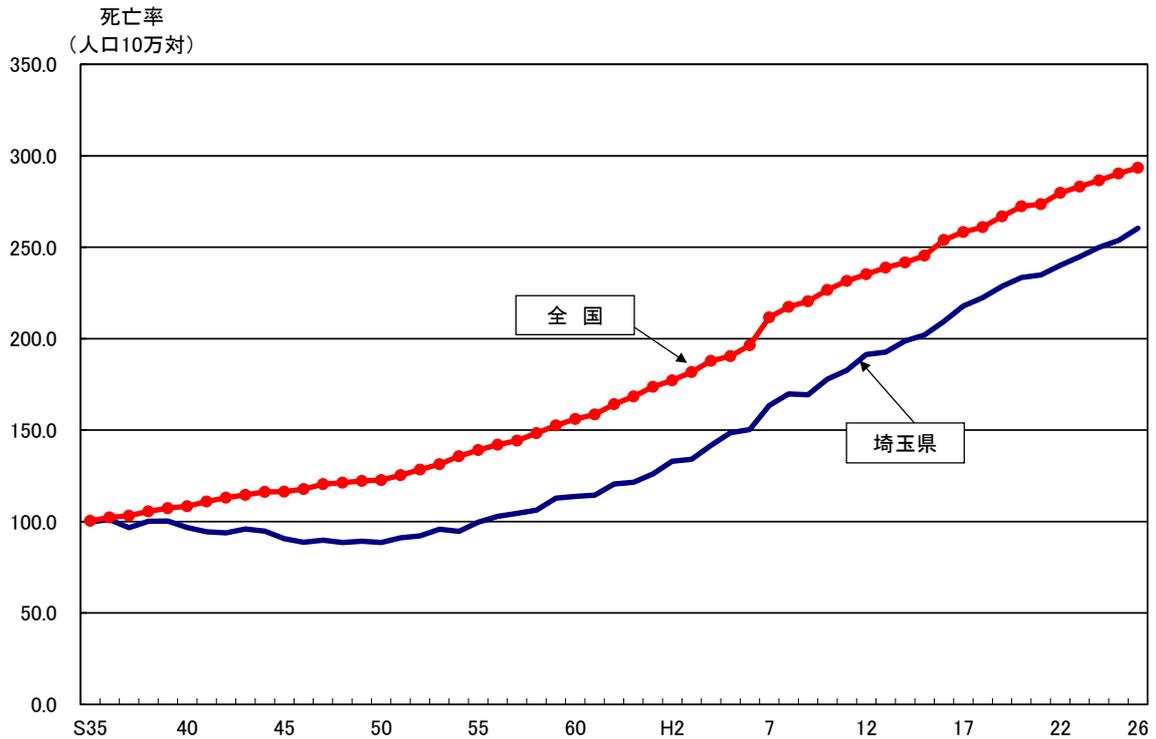
また、各年齢階級の死亡総数に占める割合をみると、60～69歳が48.7%で最も多く、次いで50～59歳が42.5%、70～79歳が40.7%の順となっている。（表－9）

死亡率（人口10万対）は、260.4で前年より6.7ポイント上昇した。全国は293.5である。埼玉県及び全国の死亡率（人口10万対）は上昇を続けている。（表－9、図－8）

表－9 悪性新生物による死亡数及び割合（年齢階級別）

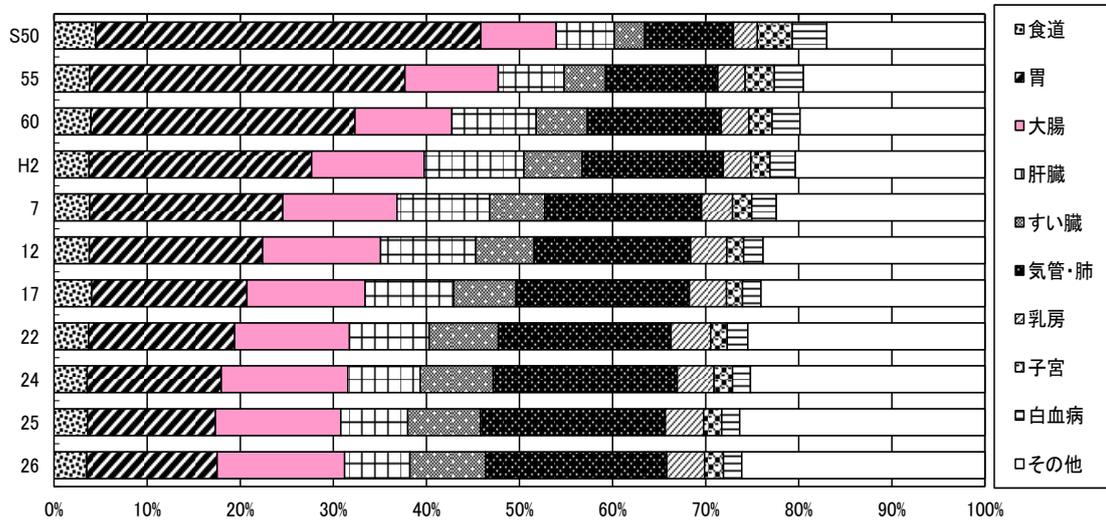
											埼 玉 県
	総数	0～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90～	不詳
死亡総数	61 269	293	295	555	1 427	2 718	8 247	15 894	20 541	11 296	3
悪性新生物による死亡数	18 599	30	33	116	456	1 154	4 019	6 461	5 039	1 291	-
(各年齢階級別割合)	100.0%	0.2%	0.2%	0.6%	2.5%	6.2%	21.6%	34.7%	27.1%	6.9%	-
死亡総数に占める割合	30.4%	10.2%	11.2%	20.9%	32.0%	42.5%	48.7%	40.7%	24.5%	11.4%	-

図－8 悪性新生物による死亡率の年次推移（埼玉県・全国）



部位別にみると、「気管・気管支及び肺」が3,618人（19.5%）で最も多く、次いで「胃」が2,603人（14.0%）、「大腸」が2,549人（13.7%）の順となっている。（図－9、表－10）

図－9 悪性新生物の部位別割合の推移（埼玉県）



表－10 悪性新生物部位別死亡数及び割合の年次推移

		埼玉県													
		S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	22	24	25	26
総数		2 426	2 914	3 508	4 265	5 404	6 665	8 518	10 942	13 163	15 190	17 058	17 818	18 100	18 599
食道		120	142	183	192	207	264	321	420	500	614	635	635	652	655
胃		1 272	1 393	1 535	1 763	1 830	1 891	2 036	2 268	2 450	2 534	2 677	2 568	2 487	2 603
大腸		346	542	694	1 031	1 344	1 670	1 929	2 105	2 421	2 437	2 549
(結腸)		178	290	410	664	878	1 101	1 283	1 364	1 603	1 681	1 716
(直腸)		63	106	130	168	252	284	367	466	569	646	741	818	756	833
肝臓		229	222	249	266	383	604	912	1 088	1 344	1 443	1 457	1 388	1 302	1 303
すい臓		42	66	106	139	240	366	532	647	825	1 019	1 269	1 396	1 411	1 513
気管・気管支及び肺		95	174	281	407	652	958	1 292	1 846	2 215	2 829	3 163	3 523	3 593	3 618
乳房		40	38	77	110	158	199	253	362	511	607	726	703	745	760
子宮		138	159	139	160	170	166	176	228	236	261	305	353	350	376
白血病		58	84	98	158	169	200	230	287	276	302	376	343	350	365
その他		369	530	710	724	1 053	1 323	1 735	2 452	3 136	3 652	4 345	4 488	4 773	4 857
総数	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
食道	%	5.0	4.9	5.2	4.5	3.8	4.0	3.8	3.8	3.8	4.1	3.7	3.6	3.6	3.5
胃	%	52.4	47.8	43.8	41.3	33.9	28.4	23.9	20.7	18.6	16.7	15.7	14.4	13.7	14.0
大腸	%	8.1	10.1	10.3	12.1	12.3	12.7	12.7	12.3	13.6	13.5	13.7
(結腸)	%	4.2	5.4	6.1	7.8	8.0	8.4	8.4	8.0	9.0	9.3	9.2
(直腸)	%	2.6	3.6	3.7	3.9	4.7	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.6	4.2	4.5
肝臓	%	9.4	7.6	7.1	6.2	7.1	9.1	10.7	10.0	10.2	9.5	8.5	7.8	7.2	7.0
すい臓	%	1.7	2.3	3.0	3.3	4.4	5.5	6.2	5.9	6.3	6.7	7.4	7.8	7.8	8.1
気管・気管支及び肺	%	3.9	6.0	8.0	9.5	12.1	14.4	15.2	16.9	16.8	18.6	18.5	19.8	19.9	19.5
乳房	%	1.7	1.3	2.2	2.6	2.9	3.0	3.0	3.3	3.9	4.0	4.3	3.9	4.1	4.1
子宮	%	5.7	5.4	4.0	3.8	3.1	2.5	2.0	2.1	1.8	1.7	1.8	2.0	1.9	2.0
白血病	%	2.4	2.9	2.8	3.7	3.1	3.0	2.7	2.6	2.1	2.0	2.2	1.9	1.9	2.0
その他	%	15.2	18.2	20.2	17.0	19.5	19.8	20.4	22.4	23.8	24.0	25.5	25.2	26.4	26.1

(ウ) 心疾患

心疾患による死亡数は10,263人で、死亡総数の16.8%を占めている。

年齢階級別にみると、80～89歳が3,745人で最も多く、70～79歳が2,340人、90歳以上が2,332人の順となっている。

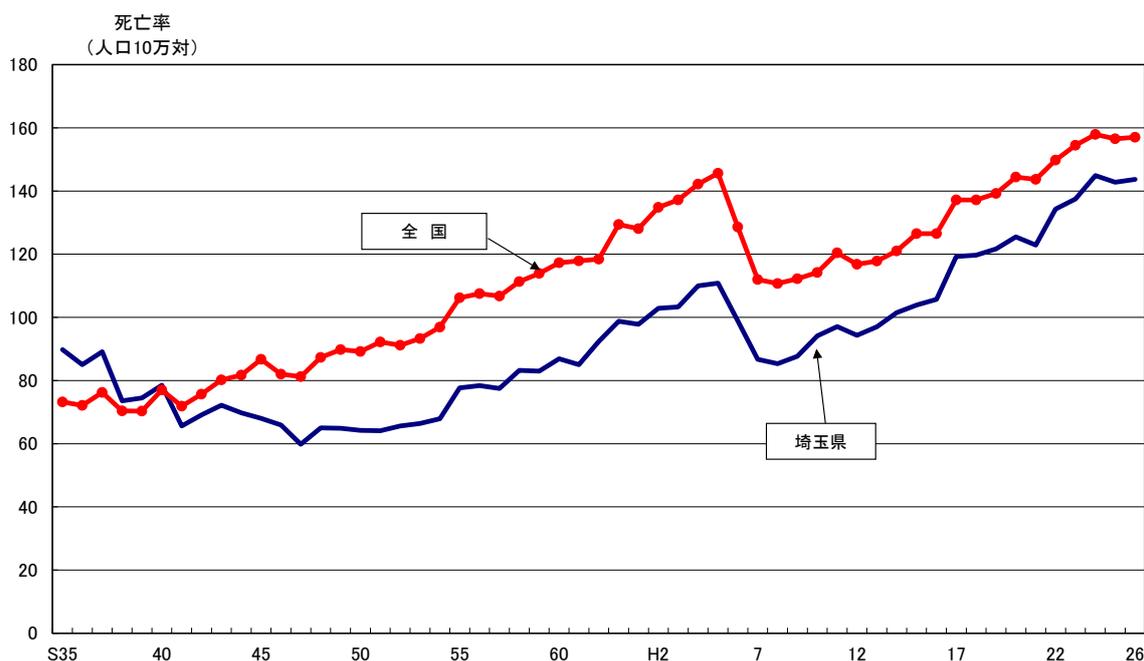
また、各年齢階級の死亡総数に占める割合は、90歳以上が20.6%で最も多く、次いで80～89歳が18.2%、40～49歳が14.9%の順となっている。（表－11）

死亡率（人口10万対）は平成7年1月に死亡分類及び死亡診断書の改正が行われた影響で、平成7年に一度大幅な低下を見せたものの、近年は上昇傾向にあり、平成26年は143.7であった。全国は157.0である。（図－10）

表－11 心疾患による死亡数及び割合（年齢階級別）

埼 玉 県											
	総数	0～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90～	不詳
死亡総数	61 269	293	295	555	1 427	2 718	8 247	15 894	20 541	11 296	3
心疾患による死亡数	10 263	14	16	57	212	380	1 166	2 340	3 745	2 332	1
(各年齢階級別割合)	100.0%	0.1%	0.2%	0.5%	2.1%	3.7%	11.4%	22.8%	36.5%	22.7%	0.0%
死亡総数に占める割合	16.8%	4.8%	5.4%	10.3%	14.9%	14.0%	14.1%	14.7%	18.2%	20.6%	33.3%

図－10 心疾患による死亡率の年次推移（埼玉県・全国）



(エ) 肺炎

肺炎による死亡数は6,275人で、死亡総数の10.2%を占めている。

年齢階級別にみると、80～89歳が2,810人で最も多く、90歳以上が1,803人、70～79歳が1,211人の順となっている。

また、各年齢階級の死亡総数に占める割合は、90歳以上が16.0%で最も多く、80～89歳が13.7%、70～79歳が7.6%の順となっている。（表－12）

死亡率（人口10万対）は、87.8で近年は上昇傾向にある。全国は95.4である。（図－11）

表－12 肺炎による死亡数及び割合（年齢階級別）

埼玉県											
	総数	0～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90～	不詳
死亡総数	61 269	293	295	555	1 427	2 718	8 247	15 894	20 541	11 296	3
肺炎による死亡数	6 275	5	3	10	26	75	332	1 211	2 810	1 803	-
（各年齢階級別割合）	100.0%	0.1%	0.0%	0.2%	0.4%	1.2%	5.3%	19.3%	44.8%	28.7%	-
死亡総数に占める割合	10.2%	1.7%	1.0%	1.8%	1.8%	2.8%	4.0%	7.6%	13.7%	16.0%	-

図－11 肺炎による死亡率の年次推移（埼玉県・全国）

